

令和 5 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立中野小学校

令和 6 年 3 月

## 大阪市内立中野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

○学級活動を3年研究し、昨年度は、児童会活動も加えて代表委員会や委員会活動にも広げて研究を進めてきたことにより、よりよい学級づくりだけでなくよりよい学校づくりをめざして児童が自ら考え行動する児童を育てている。「自分たちで中野小学校をよりよくしていく」という気風が受け継がれている。また、高学年のリーダーにアコガれをもち、下学年のフォロワーシップも育ってきている。

○学級活動で学んだ話型を基本としてどの学習でも「話す・聞く」ことの態度を育てることに重点を置いて指導し、話しやすい学級集団作りを心がけている。その結果、小グループでは話し合うことはできるようになっているが、全体の場合では、進んで自分の意見を表現することが苦手な児童もいる。

○学力面では、大阪市小学校経年調査年度目標を達成することができなかったが標準化得点にはほぼ近づいている。今年も習熟度別学習の充実と家庭学習(なかのマスター)の活用など、確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学習についてもいろいろな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用場面をより増やしていくよう授業改善を行っていく。

○体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5年生も男女とも体力合計点が全国平均を上回り「スポーツが好き」という回答も目標を上回ることができた。これからも外遊びを推奨し、なわとび・かけ足などの週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で1年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう授業改善を進めていく。

学年内で授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを進めていく。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】****基本的な方向1 安全・安心な教育の推進**

①令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を90%以上にする。

②年度末の校内調査において、不登校児童の割合を前年度より減少させる。

③年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

**基本的な方向2 豊かな心の育成**

④令和7年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に90%以上にする。

⑤令和7年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和7年度末に77%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

⑥全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を令和7年度末に国語・算数とも1.00にする。

⑦令和7年度末の校内調査の「習熟度別少人数授業やグループ別授業は分かりやすい」の項目について、肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。

#### 基本的な方向5 健やかな体の育成

⑧全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を令和7年度末に男女とも1.00にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 基本的な方向6 教育DXの推進

⑨令和7年度の全国学力・学習状況調査の5年生の時に受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を90%にする。

#### 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

⑩ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で3日以上、夏季休業期間以外の休業期間において1日以上設定する。

#### 基本的な方向8 生涯学習の支援

⑪令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を76%以上にする

#### 基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

⑫令和7年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を密にとっているか」の項目について、令和3年度より1ポイント増加させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

#### 基本的な方向1 安全・安心な教育の推進

- ①令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ③年度末の校内調査において、前年度不登校の児童の改善の割合を増加させる。

#### 学校園の年度目標

#### 基本的な方向2 豊かな心の育成

- ④令和5年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和5年度末に90%以上にする。
- ⑤令和5年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和5年度末の78%より向上させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

#### 基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上

- ④小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を41%以上にする。
- ⑤小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- ⑥小学校学力経年調査における「外国語（英語）勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ⑦小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

#### 基本的な方向5 健やかな体の育成

- ⑧小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- 新体力テストの50m走の記録を全学年1学期より3学期を向上させる。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

#### 基本的な方向6 教育DXの推進

- ⑨令和5年度の全国学力・学習状況調査の5年生の時に受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を75%以上にする。

#### 基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

- ⑩ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で3日以上、夏

季休業期間以外の休業期間において 1 日以上設定する。

#### 学校園の年度目標

##### 基本的な方向 8 生涯学習の支援

⑪令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 75 %以上にする。

##### 基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進

⑫令和 5 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を 80 %以上にする。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

安心・安全な教育の推進では、全市共通目標について、いじめアンケートで児童から聞き取り、その都度解決し、再発もなく至っている。不登校だった児童 2 人は改善して毎日登校できるようになったが新たに不登校（傾向）になった児童が 3 人おり、SC や医療機関と連携して対応を進めているが、児童の不登校は続いている。

本校の年度目標を見ると、「人の役に立つ人間になりたいですか」という項目では、目標を上回り特別活動で培ってきた成果が出ているが、「自分にはよいところがありますか」の項目で目標は達成したが、高学年の肯定的な回答の割合が低く自分に自信が持てない児童が多いことが分かった。

誰一人取り残さない学力の向上の全市共通目標について、学力経年調査の全国比を前年度より全学年上げることができなかったが、ほぼ標準化得点に前後した結果となった。「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広めたりすることができていますか」では、目標を 5 ポイント上回り達成することができた。5 年間学級活動を中心に特別活動を研究領域にしているので成果が出たのではないかと思うが、やはり高学年では割合が低くなっている子どもたちの中では、昨年より高い水準を考えて低く自己評価をしているのではと考える。「外国語が好きですか」の項目では、経年調査で大阪市平均を上回り、目標を達成できた。体力面では、男女ともにどの学年も春よりも記録を伸ばすことができ、5 年生も男女とも体力合計点が全国平均を 2 ポイント上回ったが、「スポーツが好き」という回答は目標を上回ることができなかった。

学びを支える教育環境の充実では、ICT 機器の活用についてはほぼ毎日授業で使うと設問に対して昨年度より多くなったがまだまだ目標には程遠かった。心の天気の入力もクラスによってまちまちなので来年度は進めていく。ゆとりの日を週に 1 回設定し、7 割の教職員が退勤できている日が約 35 %ある。管理職が声をかけた成果か昨年度より平均長時間勤務が 2 時間減っている。読書は、学校司書と協力して図書委員会を中心に取り組みを進め、自主学習できるような環境作りもしたので、目標を達成することができている。地域や保護者にも HP や学校だよりを通して進めてきて一定の評価を得ている。

今後の方向性として、生活指導面では引き続きいじめの早期発見、早期対応による指導と、学校の組織的な取り組みを進めることで未然防止も含め安全・安心な学校づくりを進めていく。その指標として、「学校が楽しい」「きまりを守っている」の項目でチェックし、フィードバックしながら改善策を講じていく。一方で、今年度成果のあったたてわり活動を来年度以降も引き続き大切にして、異学年のかかわりによる育ちを推進し、子どもたちがつくる学校をめざして自主的活動を支援していく。

学力面では、引き続き、家庭学習チェックシート（なかのマスター）の活用など、確実に基礎・基本が定着する手立てと、教員の授業力の向上に向けて取り組んでいく。自主学習についても廊下に掲示したり、学年だよりで啓発したりとさまざまな場面で保護者に伝え、子どもたちの意欲が継続できるよう学校全体で取り組んでいく。また、一人一台端末の活用場面をより増やしていけるよう放送を入れて全校で心の天気の入力に取り組むなど授業改善を行っていく。

体力面では、外遊びを推奨し、なわとび・かけ足などの週間を設けて有効な運動のあり方を模索する。体育科の授業でも準備運動に中野っ子体操を全学年で 1 年間通して取り組み、ラダーや運動量の多い活動を多く取り入れる。ゲーム領域では、学級活動で学んだことを生かして、チームでの作戦や運動について話し合い、学び合いができるよう授業改善を進めていく。

学年内で専科だけでなく、授業交換するなど学級担任だけでなくチームで子どもたちの学びを支え、担当する教科を減らすことで児童との関わりが持てる時間を増やし、働き甲斐のある職場づくりを進めていく。

## 大阪市内 中野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>全市共通目標(小・学校)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</li> <li>・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</li> <li>・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</li> </ul> <b>学校の年度目標</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和5年度末に90%以上にする。</li> <li>・ 令和5年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和5年度末に78%以上にする。</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育の推進】</b> いじめについて考える日やいじめアンケートを活用していじめを許さない雰囲気づくりを進める。	B
<b>指標</b> 令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」に回答する児童の割合を85%以上にする。 結果→77.25%	
<b>取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b> 学級活動を中心に自ら進んで物事に取り組む気持ちを育て自己の役割に対して責任をもって果たしたり、集団のために貢献したりしようとする教育を進めることで自己有用感を育てる。	A
<b>指標</b> 令和5年度の小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和5年度末に90%以上にする。 結果→93.55%	
<b>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b> 友だちと協力して成し遂げる体験活動(異学年交流など)の機会を多くもつことによって自信をもち、自分のよさを発揮できる子どもを育てる。	A

<p>指標</p> <p>令和５年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和５年度末の 78%より向上させる。 結果→79.875%</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <p>Aが８人 Bが８人 Cが２人</p> <p>経年調査の結果では、77.25%と目標の85%には届かなかった。しかし、定期的にアンケートを実施し、学年、学校で共有したり、何かあれば解決策を学校全体で考えたり教職員で情報を共有できている。また、子どもたちも「いじめはいけないこと」という意識が強いなど、肯定的な意見が多かった。</p> <p>そのため、目標にはとどかなかったが最終評価はBとする。</p> <p>取組内容②</p> <p>指標を上回っている。</p> <p>○係活動や当番活動に意欲的に取り組んでおり、前向きに頑張っている。</p> <p>○委員会や学級活動など、何かに対して責任をもって取り組んでいる児童が多い。</p> <p>○学級活動やたてわり班活動などで児童は、人の役に立つ人間になりたいと考えていることができる。</p> <p>○係活動や当番活動などで、進んで行えない友だちに声かけをし、促す姿を見られ嬉しい。</p> <p>○集会などで企画・運営する高学年の姿が、低・中に伝わっていると思う。</p> <p>○人のため、クラスのために活躍した時には、褒めることで自己有用感をもつことができた。</p> <p>○高学年が委員会活動や児童会活動を活発に行っているのを見ているので、それ以外の学年も、学年集会や学級集会をするときには、自ら進んで物事に取り組む子が多い。</p> <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年調査の結果、79.8%で目標を達成している。</li> <li>・児童会活動や学校行事、登校班など異学年交流が多く設定できていた。</li> <li>・どの活動にも意欲的に取り組み、異学年で助け合う機会が多いため、自分のよさに気づき自信をもつことができている。</li> </ul>	
次年度への改善点	
<p>取組内容①</p> <p>引き続き、「いじめはぜったいいけないこと」という意識づけるための教育をすすめていく必要がある。</p> <p>取組内容②</p> <p>各学級では、中間評価から続けて、学級活動や担任の先生を中心とした学級経営により、学級をよりよくしようといろんな活動に取り組んでいる。また、自分の役割を果たそうと係活動や当番活動などにも進んで取り組んでいる。また、児童会やクラブ活動、委員会活動でも、6年生の姿を見て、5年生がどんどん成長しており、自覚をもっていろんな活動に取り組んでいる。ただ、学級全体として見ると、まだ活動意欲に差があるのは、変わらず</p>	

ず中野小学校の児童の実態である。各学級で行っている学級経営、学級活動での取り組みなど、学校全体で共有しながら進めていく必要がある。

取組内容③

一方で約 20%の児童は自己肯定感が低いので、今後も引き続き自分のよさに気づくことができるような取り組みが必要である。



## 大阪市内 中野小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を35%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。</li> <li>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする。</li> </ul> <p>学校の年度目標</p> <p>○新体力テストの50m走を全学年、年3回実施し前回よりも記録を上回る。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で、必ずペアトークや小グループでの話し合いの場を設定し、自分の考えをまとめて書いたり、発表ボードを使って発表したりして学びを深めあう。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。→49%</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>実態把握をし、習熟度別少人数授業を充実させ、基礎基本の反復練習や発展学習ができるよう自主学習を全学年で取り組み学び方を身に付けさせる。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。</p> <p>4年生 国語→ -0.1 算数→ -2.0</p> <p>5年生 国語→ -0.8 算数→ -1.1</p> <p>6年生 国語→ +2.3 算数→ +0.9</p>	B

<p>取組内容③【<b>基本的な方向 4</b> 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>朝の外国語活動の充実・時間の確保、授業の中でコミュニケーションが取れる活動を必ず取り入れ、話すことに慣れさせる。</p>	A
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>75 %</b>以上にする。→<b>80.15 %</b></p>	
<p>取組内容④【<b>基本的な方向 4</b> 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>観察や実験を通して、生き物や科学に対する興味を持てるようにし、理科好きな子どもを育てる。</p>	B
<p>指標</p> <p>・小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <b>85 %</b>以上にする。→<b>85 %</b></p>	
<p>取組内容④【<b>基本的な方向 4</b> 健やかな体の育成】</p> <p>体力向上に向けて体育科の授業や外遊びの工夫・改善 授業の初めにラダーやミニハードル、中野っ子体操を取り入れ、継続して体力づくりを進める。</p>	A
<p>指標</p> <p>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を <b>60 %</b>以上にする。→<b>66.8 %</b></p> <p>・新体力テストの <b>50 m</b>走を全学年年3回実施し前回よりも記録を <b>上回る</b>。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容①</p> <p>進捗状況平均（1.66）A…12名 B…5名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が <b>49 %</b>以上であった。また、肯定的な回答も <b>88 %</b>と目標を大きく上回っている。</li> <li>・ペアトークや小グループでの話合いの場の設定を、どの学年でも実践している。</li> <li>・学習の時間でのペアトークやグループトークが定着しているので、子どもたちが自信をもって話合いにのぞんでいる。</li> <li>・自分の考えをまとめることに挑戦したり、まわりのサポートを受けながら、自分の考えを深めたりすることができている。</li> </ul> <p>取組内容②</p> <p>指標の経年調査の結果について</p> <p>4年生 国語→ -0.1 算数→ -2.0 5年生 国語→ -0.8 算数→ -1.1 6年生 国語→ +2.3 算数→ +0.9</p> <p>前年度より上がった学年もあるが、「いずれの学年も前年度より <b>0.02</b>ポイント向上させる。」という指標は達成できていない。国語科では、読み取りの力を向上させるために、宿題に5分程度でできるプリントを出した学年もある。</p>	

◎習熟度別少人数について

- ・ 単元ごとにクラス分けをし、年間を通して行った。
- ・ 習熟度別少人数授業を行うことで、一人一人のペースや人数、理解度に合わせた学習することができている。
- ・ 苦手な児童も自信を持って取り組んでいる。
- ・ 学級で発表できない児童が、少人数の中では進んで発表する姿が見られる。

◎自主学習について

- ・ 自主学習に毎週取り組むことによって、定着した。
- ・ 算数や国語を行うことで、学力が上がっている。
- ・ みんなに発表する時間を設けることによって、自主的に取り組むようになってきている。

取組内容③

指標「小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。」は、結果が80.15%だったため指標を達成したといえる。

○楽しんで取り組んでいるという意見が引き続き多かった。

→交換授業等で教材研究がしっかりと行われていたり、行事と絡めた活動があったりすることで楽しく学習することができている。

モジュール学習による定着もみられる。

○好きで終わらずに、外国語を使ってみたい気持ちを育てることも大切。

生活の中でいかせる教科にしていくべき。

→実際に使う機会をどう設けるか。

- ・ 英語の集会・掲示物を増やす・C-NETと関わる機会を増やす（休み時間など）

取組内容④

・ 6年→77%、5年→80%、4年→94%、3年→89%で平均すると、85%となった。学年によって差が大きい。

- ・ A→5人、B→11人、C→1人、平均すると1.2のため、評価はBとする。
- ・ 今年度は理科支援員をとっており、実験・観察を多く取り入れることができた。
- ・ 観察に意欲的に取り組んでいる児童が多い。
- ・ NHKforSchoolなどICTも積極的に活用している。
- ・ 実験や生き物に対しての関心が強いことから、理科が好きな児童が多いように感じる。
- ・ 理科は、全学年で専科制や交換授業を行っており、授業の内容も充実している。

取組内容⑤

- ・ 最も肯定的に答える児童が66.8%で、目標の60パーセントを達成した。ただ、学年が上がるほど「好き」と回答する児童が減っている。

- ・ 「新体力テストの50m走を全学年年3回実施し前回よりも記録を上回る」について、

1年	12.5→11.7	2年	11.1→10.8	3年	10.3→9.9
4年	9.6→9.3	5年	9.7→9.3	6年	9.1→8.8

<p>平均すると、2学期のタイムが全学年で上がっている。3学期はまだ計測できていないが、指標を達成することができているといえる。</p> <p>・『体育カード』を体育で取り入れてからは、さらに外遊びや運動に主体的に取り組む児童が増えた。</p>
<p>次年度への改善点</p>
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えや意見を伝え合う場を設けていることで、自信をもって発表できており、広げることはできていても深めるところまで至っていない部分もある。グループの中では、自分の考えを発信できている児童が多い。</li> <li>・できていない子への支援・手立てを工夫していかななくてはいけない。</li> </ul> <p>取組内容②</p> <p>全体的には学習の定着を図ることができている一方で理解が難しい児童や一度理解したことが、なかなか定着しない児童もいる。</p> <p>取組内容③</p> <p>○朝の時間にモジュール学習の時間をとることが難しい。(週2回)</p> <p>→水曜日の時程を戻して、時間を作るのはどうか。</p> <p>取組内容④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物を育てるのであれば、必ず子どもたちに自分で育てたと思える活動にすると意欲が出る。その時だけで終わらないようにしておく。</li> <li>・わくわくしながら疑問を持ったり、予想したりし、実験の結果に驚くというような授業の組み立てを引き続き続けていく。</li> <li>・実験や観察の仕方を工夫すればするほど、理科好きの子どもは増えると思う。</li> <li>・生き物や実験的なことに興味があると思う。</li> </ul> <p>取組内容⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を楽しんで取り組んでいる児童が多い。カードがあると、より進んで取り組んでいるので、継続して行ってほしい。</li> <li>・ラグビーやハンドボールなどのゲストティチャーや体験活動を多く設定していけば、もっと運動に触れることができると思う。</li> <li>・ラダー・ミニハードルに取り組んでいるところと、できていないところがあるので、定期的に取り組まないといけない。</li> <li>・音楽に合わせてできる体づくり運動があれば楽しんでもできると思う。</li> <li>・ラダーやミニハードルではない動きの感覚づくり運動が知りたい。</li> </ul>

## 大阪市内 中野小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p><b>基本的な方向6 教育DXの推進</b></p> <p>・令和5年度の全国学力・学習状況調査の5年生の時に受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p><b>基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり</b></p> <p>・ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で3日以上、夏季休業期間以外の休業期間において1日以上設定する。</p> <p>学校の年度目標</p> <p><b>基本的な方向8 生涯学習の支援</b></p> <p>・令和5年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を75%以上にする。</p> <p><b>基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進</b></p> <p>・令和5年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答80%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】</p> <p>デジタル教科書やタブレット等ICTを授業の中で多く取り入れ、観察したことや調べたこと等をまとめて発表できるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・児童学校生活アンケートで「デジタル教科書やタブレット等ICTを使った授業は分かりやすい」の項目について肯定的に回答する児童の割合を88%にする。 →91%</p> <p>・令和5年度の全国学力・学習状況調査の5年生の時に受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を75%以上にする。→10.9%</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>稼業中はゆとりの日を設定し、長期休業中においては学校閉庁日を設定する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>ゆとりの日については、週1回以上設定する。学校閉庁日は、夏季休業で3日以上、夏季休業期間以外の休業期間において1日以上設定する。</p>	B

<p>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>本をいつも読めるようにし、図書館開放や、読み聞かせ、本の紹介、読みたい本のランキングなど子どもたちが本に興味を持てるような活動を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>令和 5 年度の小学校学力経年調査・校内調査の読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童の割合を 75 %以上にする。→81 %</p>	A
<p>取組内容④【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協議した教育の推進】</p> <p>学校だより、ホームページ、家庭学習チェックシートなどを活用して学校の教育活動を分かりやすく伝えていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度末の保護者アンケートの「学校は学校だより、ホームページ等で教育活動を分かりやすく伝えている」の項目について肯定的に回答する保護者の割合を 94 %以上にする。→94・5 %</li> <li>・令和 5 年度末の保護者アンケートの「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」の項目について、肯定的な回答を 80 %以上にする。→90 %</li> </ul>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活アンケートでは、指標の数値を上回っていた。</li> <li>・令和 5 年度の全国学力・学習状況調査の 5 年生の時に受けた授業で、コンピューターなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童はわずか 10.9 %で目標の 75 %に達しなかった。授業の中で、デジタル教科書等の使用はしているが、タブレットを使う授業の数が少ないため、このような結果となったと考えられる。</li> <li>・算数では、すきまじかにデジタル教材を活用している。</li> </ul> <p>取組内容②</p> <p>A→10 人、B→7 人、C→1 人で平均すると 1.4 だった。評価は B とする。</p> <p>ゆとりの日の設定をし、閉庁日も設定することができているので指標としては達成できている。ゆとりの日があるが、実際はその時間に帰ることができていないことがあるという回答があった。</p> <p>取組内容③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートで肯定的に答える児童・・・84 パーセント</li> <li>・経年調査のアンケートで肯定的に答える児童・・・81 パーセント</li> <li>・図書委員会を中心に、図書館開放を毎日行い、読み聞かせや、読書クイズ、本のランキングなど、楽しく本にふれることのできる取り組みがたくさんあった。また、通常時も 2 冊借りることができるようになり、読書量が増えた。</li> </ul> <p>取組内容④</p> <p>A→14 人、B→2 人</p> <p>平均すると、1.88 だったので、A の評価でいきたい。</p> <p>1 つ目の指標「学校は学校だより、ホームページ等で教育活動を分かりやすく伝えてい</p>	

る」の項目について肯定回答は94・5パーセントだった。目標の94パーセントを達成できている。ホームページの発信やミマモルメの発信が伝わっている。

2つめの指標「学校は家庭・地域との連携を行おうとしているか」について、アンケート結果は90%で指標を大きく上回っている。今年度は、七輪体験、昔あそび等で地域の人との交流ができた。卒業式では来賓もご招待している。

#### 次年度への改善点

##### 取組内容①

- ・高学年では、タブレットを使う場面を増やしていき、より身近に活用できるようにしていく。
- ・スカイメニューの発表ボードを活用し、発表の場面でも使うことができる。
- ・「心の天気」をできていないときがあるので、確認していく必要がある。
- ・学習以外の使い方の指導も必要になってくる。

##### 取組内容②

教職員一人一人が時間を意識し、声をかけながら仕事をする必要がある。

##### 取組内容③

継続して、読書好きの児童を増やす取り組みをしていきたい。

##### 取組内容④

引き続き、開かれた学校を目指し、学校だよりの内容やホームページの更新をしていきたい。

また、地域との連携を行っていることを保護者の方、地域の方にアピールしていきたいと考えている。